室町時代

名前

問1　室町時代に有力な農民を中心として、村ごとに結成された自治組織を何といいますか。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. 五人組　2. 惣　3. 株仲間　4. 座

問2　京都の北山に位置し、鏡湖池（きょうこち）と呼ばれる池のほとりに建つ、三層構造の豪華な楼閣建築について説明した文として、最も適切なものはどれですか。この建物は、各層で建築様式が異なり、特に上部の二層には金箔が全面的に施されていることで知られています。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 室町幕府八代将軍の足利義政が、銀箔を貼る計画のもとに建立した東山文化を象徴する建物である。
2. 奥州藤原氏が、平泉において極楽浄土を地上に表現するために金箔を施して建立した阿弥陀堂である。
3. 室町幕府三代将軍の足利義満が、公家文化と武家文化を融合させて建立した北山文化を象徴する建物である。
4. 聖徳太子が、推古天皇の摂政として仏教の力を政治に活かすために建立した現存する世界最古の木造建築である。

問3　室町時代の中期、近江（滋賀県）の馬借の蜂起をきっかけに、京都一帯へと広がった大規模な土一揆（正長の土一揆）が発生しました。このとき、農民らが土倉や酒屋を襲撃して求めた「徳政」の内容として、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 守護大名の支配を拒否し、農民による自治を行うこと
2. 借金を帳消しにすることを幕府に認めさせること
3. 領主に納める年貢の割合を半分に減らすこと
4. 仏教の教えに基づき、不当に奪われた土地を返還させること

問4　室町時代、足利義政が築いた東山文化において確立された、畳を敷き詰め、襖や障子、床の間などを備えた建築様式を何といいますか。現代の和室の原型ともなった名称を答えなさい。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 書院造　2. 唐様　3. 寝殿造　4. 校倉造

問5　室町時代の文化において、観阿弥・世阿弥親子が大成した芸能である「能」の成り立ちについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 平安時代に唐から伝わった音楽や舞踊が、日本の貴族の好みに合わせて宮中行事用に整理された。
2. 民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、武家社会の好みに合うよう芸術的に高めた。
3. 奈良時代から平安時代にかけて編纂された和歌集を基に、節を付けて歌い継ぐ芸能として成立した。
4. 江戸時代初期に出雲の阿国という女性が始めた踊りが、音楽や演劇的要素を取り入れて発展した。

問6　15世紀に成立した琉球王国は、中国（明や清）との朝貢貿易を通じて生糸や絹織物などの品物を入手していました。これらの中国の品物を、日本や東南アジアなどの各地へ転売することで利益を得ていた、当時の琉球王国の貿易形態を何といいますか。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 勘合貿易　2. 南蛮貿易　3. 中継貿易　4. 朱印船貿易

問7　室町時代、禅宗の影響を受けて発達した、墨の濃淡のみで自然や人物を表現する「水墨画」を日本独自の芸術として大成させた人物は誰ですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 葛飾北斎　2. 狩野永徳　3. 運慶　4. 雪舟

問8　日本の中世（鎌倉時代・室町時代）において、馬を利用して荷物を運送し、物資の流通に重要な役割を果たした業者を何と呼びますか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 馬借　2. 土倉　3. 酒屋　4. 問丸

問9　1467年に京都で始まり、約11年間にわたって続いた戦乱について、その発生の直接的な背景と、社会に与えた影響の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 海外との貿易利権をめぐる対立が背景となり、将軍の権威が高まって守護大名の力が弱まった。
2. 農村での一揆が全国に広がったことが背景となり、幕府が守護大名の力を借りて農民を支配する体制が強化された。
3. 徳川家康と石田三成の対立が背景となり、戦乱の後には幕府による大名への統制が厳しくなった。
4. 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。

問10　14世紀、鎌倉幕府を倒したのちに、天皇自らが政治を行う「建武の新政」を開始した人物として正しいものを選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 後白河上皇　2. 桓武天皇　3. 後醍醐天皇　4. 後鳥羽上皇

問11　1467年に発生した応仁の乱は、その後の日本の政治情勢にどのような決定的な変化をもたらしましたか。（2026年 栃木県公立入試 類似）

1. 守護大名が団結して幕府を支える体制が整い、幕府による全国支配がより強固なものとなった
2. 天皇中心の政治を復活させるため、地方の武士が京都に集結し、建武の新政に次ぐ新しい朝廷政治が確立された
3. 幕府がキリスト教の布教を禁止したため、フランシスコ・ザビエルが九州から国外へ追放される事態となった
4. 将軍の権威が大きく衰退し、実力のある者が上の立場をしのぐ「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入した

問12　室町時代の東山文化において、禅宗寺院の住居様式が武家や公家の邸宅に取り入れられて成立した建築様式を何といいますか。床の間や畳、違い棚などを備え、現代の和室の原型となったものを選択肢から選びなさい。（2025年 大阪府公立入試 類似）

1. 書院造　2. 権現造　3. 唐造　4. 寝殿造

問13　南北朝時代において、守護が「守護大名」へと成長し、一国を領国として支配するに至った背景として、当時の社会状況を説明したものとして適切なものはどれですか。（2021年 岡山県公立入試 類似）

1. 幕府が半済令を出し、守護が荘園や公領の年貢の半分を軍費として徴収することを認めたため。
2. 有力な農民が武装して国人となり、幕府の権威を借りずに自ら一国を統治し始めたため。
3. 鎌倉幕府の滅亡後、すべての武士が天皇から直接領地を安堵される仕組みに変わったため。
4. 地頭が土地の管理権を強め、幕府の許可なく独自に検地を行うことが一般化したため。

問14　室町時代、室町幕府や有力な寺社は財政収入を増やすために、物資の往来が盛んな街道の要所に特定の施設を設置しました。この施設を利用した制度の説明として最も適切なものを選んでください。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。
2. 問屋が生産者から商品を一括で買い取る仕組みを作り、幕府がその取引額の一定割合を徴収した。
3. 幕府が公認した株仲間に営業の独占権を与える代わりに、運上や冥加と呼ばれる税を納めさせた。
4. 主要な港に奉行所を置き、海外から持ち込まれた木材などの輸入品をすべて幕府が買い上げた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 惣	室町時代、生産力の向上を背景に農民の地位が高まると、農民たちが自発的に結集して村を運営するようになりました。この組織は「惣」または「惣村」と呼ばれ、寄合を開いて農業用水の管理や共同作業の調整、村の祭礼などを行いました。選択肢にある「座」は商人や手工業者の団体、「株仲間」は江戸時代の商業ギルド、「五人組」は江戸時代に幕府が年貢納入などの連帯責任を負わせた制度です。
問2	答え 3 室町幕府三代将軍の足利義満が、公家文化と武家文化を融合させて建立した北山文化を象徴する建物である。	鹿苑寺金閣（金閣）は、足利義満が京都の北山に建立した山荘です。当時の公家文化と新興の武家文化が融合した華やかな「北山文化」を代表する建築物で、初層が寝殿造（公家風）、二層が武家造、三層が禅宗様（仏殿風）という異なる様式を一つの建物の中に調和させています。
問3	答え 2 借金を帳消しにすることを幕府に認めさせること	室町時代には、惣村と呼ばれる村の自治組織が発達し、農民たちが団結して行動するようになりました。凶作や流行病などの社会不安を背景に、彼らは金貸しを営んでいた土倉や酒屋を襲い、借金の証文を破棄したり、幕府に対して借金の無効化を命じる「徳政令」の発布を強く要求しました。これが土一揆の主な目的であり、単なる年貢の軽減要求とは異なる点に注意が必要です。
問4	答え 1 書院造	室町時代の東山文化では、禅宗の影響を受けた簡素で機能的な武家の好みが反映されました。慈照寺東求堂同仁斎（じしょうじとうぐどうどうじんさい）に代表されるこの様式は、書斎としての機能を持つ「書院」や「違棚（ちがいだな）」を備え、現代の和風住宅の基礎となりました。平安時代の貴族の住居様式である寝殿造とは、床に畳を敷き詰める点などで大きく異なります。
問5	答え 2 民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、武家社会の好みに合うよう芸術的に高めた。	能は、もともと農村や寺社で行われていた娯楽的な要素の強い「猿楽」や「田楽」を、足利義満という強力なパトロン（保護者）を得た観阿弥・世阿弥が、幽玄（奥深く、はかりしれない趣）を重んじる芸術的な舞台芸能へと昇華させたものです。
問6	答え 3 中継貿易	琉球王国は、中国の皇帝に貢ぎ物を送って臣下の礼をとる「朝貢貿易」を行い、その見返りとして貴重な中国製品を譲り受けていました。琉球はこの品物を自国で消費するだけでなく、日本や東南アジアへ運んで販売する「中継貿易（なかつぎぼうえき）」の拠点として、アジア各地を結ぶ役割を担い繁栄しました。
問7	答え 4 雪舟	室町時代には、禅宗の教えとともに中国から水墨画が伝わりました。画僧であったこの人物は、明へ渡って本場の技法を学び、帰国後に日本の風景に即した独自の画風を確立しました。代表作に『四季山水図』などがあります。狩野永徳は安土桃山時代の屏風画、葛飾北斎は江戸時代の浮世絵、運慶は鎌倉時代の彫刻で知られる人物です。
問8	答え 1 馬借	鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所に拠点を置き、馬を使って荷物を運んだ運送業者のことです。物資の流通が活発になったこの時代において、各地の市場や港を結ぶ重要な物流の担い手となりました。
問9	答え 4 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。	室町時代の中期、8代将軍足利義政の後継者をめぐる争いに、細川勝元と山名宗全という二大守護大名の勢力争いが結びついたことで応仁の乱が勃発しました。この戦乱により幕府の権威は失墜し、中央の統制が及ばなくなったことで、身分が下の者が実力で上の者を倒して領地を広げる「下剋上」の風潮が全国的に広まりました。これが、のちの戦国時代へとつながる大きな転換点となりました。
問10	答え 3 後醍醐天皇	鎌倉幕府を倒した後の1333年、後醍醐天皇は、長らく続いた武家政治を否定し、天皇が直接政治を執り行う「建武の新政」を始めました。しかし、この政治は公家を極端に優遇するものだったため、討幕に協力した武士たちの強い不満を招き、わずか数年で崩壊することとなりました。
問11	答え 4 将軍の権威が大きく衰退し、実力のある者が上の立場をしのぐ「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入した	将軍の跡継ぎ問題や有力守護の対立から始まった応仁の乱は、11年間にわたって主に京都を戦場とし、幕府の統制力を完全に失墜させました。これにより、各地で守護代や国人などの下の者が実力で主君を倒す「下剋上」が起こり、戦国大名が割拠する時代へと移行しました。
問12	答え 1 書院造	東山文化は、足利義政が京都の東山に山荘（銀閣）を建てた時期に栄えた文化です。禅宗の影響を強く受け、簡素で深みのある趣を重んじました。その中で生まれた書院造は、畳を敷き詰め、床の間や違い棚、付け書院といった現代の和室にも見られる要素を確立し、武士の対面儀礼の場としても機能しました。
問13	答え 1 幕府が半済令を出し、守護が荘園や公領の年貢の半分を軍費として徴収することを認めたため。	南北朝の動乱が長引く中で、室町幕府は軍費を確保するために「半済令」を制定しました。これは守護に一国の年貢の半分を徴収する強大な権限を与えるものであり、守護が経済的基盤を固めて領国支配を強める決定的な要因となりました。
問14	答え 1 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。	室町時代には農業や手工業の発達により地域間の流通が活発になりました。この経済活動に注目した室町幕府や寺社などは、街道や港に「関所」を設け、そこを通る人々から「関銭（せきせん）」や「津料（つりょう）」といった通行料を徴収しました。これは当時の権力者にとって重要な財源となりました。選択肢にある株仲間や問屋の全盛期は江戸時代であり、時代背景が異なります。